

## 実践事例

学校名 \_\_\_\_\_

### 1 実践の概要

#### (1) 取組みのねらい

- 「いじめ」を根絶し、一人一人を思いやる心を育てる。
- 「いじめ」が起きた場合は、いじめられている児童の立場に立って、早期解決に向けて全職員一丸となって、対応する。

#### (2) 取組みの内容

- 道徳の授業を中心とした道徳教育の充実による「思いやり・親切」の醸成
- 「いじめ」の実態調査
- 「いじめ」事故への対応（被害者及び加害者からの聴き取り、被害者保護、それぞれの保護者からの聴き取り、市教委への報告、教職員間の連携強化）

### 2 実践の成果（態度・心情面やいじめの解決など）

- 道徳の授業の充実により、子どもたちの「友達を思いやる行動」が随所に見られた。
- 「いじめの調査」により、友達との関係で子どもたちがどのようなときに「いやな思い」をするのかが、ある程度把握できるようになったので、その後の指導で、どのような働きかけをすればよいか、わかってきた。
  - ・大人（保護者・教師）から見た状況と子どもの思いとのずれを極力なくし、被害を訴える児童の立場で、教師が支援にあたることができるようになってきた。
- 平成18年 月に起きた「いじめ事故」については、学校として対応する組織を整え、全職員共通理解のもとに、校長を中心としていち早く対応することができた。被害児童の話聴き、本人の心情を考慮して、保健室での授業を行うなど、組織的に個々の児童にとって、解決しなければならない問題に一つ一つあたり、 月には解決を見ることができた。

#### 「いじめ事故」への対応（具体策）

いじめの発覚以後すぐに本人に対して全職員で対応できる体制をつくり、卒業式に他の同級生といっしょに出席することを目標に、役割分担を明確にして指導にあたっている。

- 養護教諭・・・一番多く接し、悩みを聞いたり本人のすべてを受け入れる。
- 教務・・・個別の授業を進める。
- 生徒指導主事・・・全校の児童の問題行動等を把握し、いじめと見られるような行動について詳細に情報収集する。
- 教頭・・・行事参加や家庭との連絡に関わること。
- 担任・・・本人と個別に関わりをもちながら、学級ではいつでも戻ってこられるような雰囲気作り及びクラスの他の児童へのはたらきかけを行い、児童同士の接点をできるだけ多くする。

その結果、いじめた児童とは接点が少なくなったこともありいじめを受けることはなくなった。（ 月 日に保護者と確認）

### 3 取組みの評価（対応についての評価）

○未然防止に向けて、教育活動全体を通じて道徳教育を行ってきたため、多くの児童に「思いやりの心」を醸成することができた。しかし、ごく一部の児童とはいえ、友達の心を傷つける行為が見られたことは、指導面で行き届かなかったということであり、反省しなければならない点である。

○「いじめ事故」の対応については、被害児童の立場にたって全職員で対応したため、早期解決につながった。

### 4 実践に関する資料（学習カード等）

○道徳「思いやり・親切」（資料）  
の1 道徳資料（話） H18.

中学校1年のY君は、内気だけれど他の人に「ありがとう」と言われるのがうれしくて、ついついお節介焼きをしていました。あるとき、後ろの席の女子の消しゴムがY君の脇に落ちて転がってきました。何気なく拾ってやろうとしたら、いきなり「さわるな！」と鋭い声がしました。（まさか、自分に言ったんじゃないだろう）、と気にせず消しゴムを拾って後ろの席の女子に渡そうとすると「何でさわったんだ！」と詰め寄られました。自分ではいいことをしたと思っていたのに、なぜか怒られてしまいました。（納得いかないなあ。）と思いながらもけんかするのはつまらないからと、何も言わずそのまま前を向き直しました。Y君は、30年たってもあのときのことを覚えています。

高校2年になったY君は、お節介が直りません。電車で高校に通っていたときのことです。駅で停車したときに、降りた乗客が棚に荷物を忘れていったように見えました。（困るだろうなあ。）と思って、その荷物に手を触れたときです。「俺の荷物をどうする気だ。」と怒ったような声が聞こえました。（えっ！今降りた人の荷物じゃないの？）と一瞬青ざめてしまいました。「すみません。」と小さな声で言って、その場を離れていきました。

思いやりや親切は、お互いの心を和ませ、友達になるきっかけになるものです。そして、いつの時代でも何歳になってもこのことは変わりません。しかし、そのとき大切なことは、「相手の気持ちになって行動する」ということです。（せっかく親切にしてやったのにとか、なんでわかってくれないんだ）とか思う気持ちは、余計に相手を遠ざけてしまうものです。私が失敗したこの2つの経験から「相手の気持ちになって考える」ことが、他の人と仲良くしながら生きていく上で最も大切なことだと感じました。どうか皆さんも自分のことだけでなく、相手の気持ちを考えてやるところから、思いやりをもつ、親切にすることということがスタートするのだということを覚えておいてほしいと思います。